

「信楽園病院 COPD 地域連携パス」の御案内

呼吸器内科 川崎 聡

いつも呼吸器内科へ御支援いただきありがとうございます。今回は、昨年末より開始しました「信楽園病院 COPD 地域連携パス」について御紹介申し上げます。COPDは喫煙により肺に炎症（喘息が好酸球性炎症であるのに対して COPD は好中球性炎症）が惹起された結果、不可逆的な気道閉塞が起こり、咳嗽、喀痰、呼吸困難などの症状を呈する病気です。日本に530万人の患者がいると推測されていますが、正確に診断治療されている人はごく一部にすぎません。

このような現状をふまえ、COPDの正確な診断および治療介入などを通じた地域貢献を目的とし、「信楽園病院 COPD 地域連携パス」事業を開始しました。COPDが疑われる患者様を地域医療連携室経由で御紹介いただき、外来で問診、画像検査、スパイロ検査などを行い診断します。COPDに該当する場合は、ガイドラインにそったCOPD治療薬を処方および服薬指導して、原則紹介医様に逆紹介します。

未診断 COPD 患者様の多くは、喫煙していた（している）のだから慢性の咳嗽、喀痰、呼吸困難はしょうがないと考えられているようですが、昨今の吸入治療薬はこれらの症状を軽減し、呼吸機能の低下をある程度改善するだけでなく、余命を伸ばす効果も確認されています。すなわち正確に診断して治療介入することは患者様の大きなメリットとなるわけです。下記に示したような患者様がいらっしゃいましたら、是非とも当院を御利用いただきながら、地域の COPD 診療にお力添えいただければ幸いです。

以下に該当する場合COPDの可能性ががあります

現在もしくは過去にタバコを吸っていた人で

- 息切れ、咳、痰などの症状がある人
（初期には無症状な方もいます）
- 胸部レントゲンやCTで肺気腫といわれたことがある人
- 人間ドックなどの呼吸機能検査で閉塞性障害（1秒率の低下）を指摘されたことがある人
- 高齢者

COPDは、早期から適切な検査(スパイロなど)、治療を受けることにより進行を遅らせることが可能です。信楽園病院へ御紹介ください

信楽園病院地域医療連携室 直通FAX 025-260-8102 直通TEL 025-260-8101



C O P D 外 来 の 流 れ ご 紹 介

COPD（慢性閉塞性肺疾患）外来を受診される方へ

患者様用

COPD は、適切な治療を受けることにより、息切れなどの症状が改善し、今より快適な毎日を過ごせるようになります。

当院の COPD 外来は、医師による診察、検査を実施し、COPD の早期発見、診断を行っています。

COPD 外来の流れ

① 診察室

診察前に、問診票を3枚記入します。

② 診察



③ 検査

1. 吸入薬を使用して呼吸機能検査を行います。
2. 胸部レントゲン撮影を行います。



④ 診察室

本日の検査の結果、今後の治療について説明を行います。

<治療が開始となる場合>

⑤ 持参薬センター

薬剤師から吸入薬の使い方について指導を受けます。



これで、終わりとなります。当院からかかりつけの先生に結果を報告いたします。
お疲れさまでした。

信楽園病院 呼吸器内科外来

